

〈R4 年度 栃窪小学校 国際科 評価結果〉

指導の重点

英語活動を通してコミュニケーション能力を高めたり、自国や他国の良さに気付いたりする中で、心豊かでたくましい児童を育成する。

	評価項目	評価基準	評価
成 果	(1) 英語を使っていろいろな人（友達や外国の人）とコミュニケーションを図ることが好きになる。 (2) 国際交流会等、外国の人々と関わる活動を通して、自国や他国の文化・伝統を調べることが好きになる。	A：肯定的評価が 80%以上 B：肯定的評価が 65%以上	児童 (1) A 100% (2) A 100% 保護者 (1) A 100% (2) A 100%
教 育 活 動	(1) ゲームやインタビューなど、ねらいに応じたコミュニケーション活動（アクティビティー）を取り入れることができたか。 (2) 歴史や文化など、各国の特徴的な内容を取り上げ、外国や日本の違い、よさを感じさせることができた。	A：実施した。 B：実施できなかった。	(1) A (2) A
運 営 活 動	(1) ALT との打ち合わせの時間を確保するために、事前に各担任と確認する。 (2) 外国の人と交流する機会を設ける。	A：直接打ち合わせができた。交流の機会を設けることができた B：直接打ち合わせができなかった。設けることができなかった。	(1) A (2) A

(考察)

- ◎ (1) について肯定的評価は児童 100%、保護者 100%で A 評価でした。1 学期と比較し、児童、保護者ともに肯定的評価は高くなっています。タブレットを活用したり、児童同士が関わり合う楽しい活動を行ったりすることで楽しんで活動する様子が見られるようになってきました。
- ◎ (2) について、カナダからの体験入学児童 1 名が 7 月から約 1 か月の間ありました。また、韓国からの体験入学児童 2 名も 7 月の 1 週間ありました。それぞれの出身国について、本人・保護者から教えてもらう学習会を開くことで、外国への興味や学習した英語を使ってみたいという意欲を高めることができました。